

市議会 9月定例会

行政報告

市議会9月定例会が招集された9月5日、高山市長が行政報告をしました。その中から主なものをお伝えします。なお、9月定例会で審議された議案などについては、次号でお知らせします。



稲の生育状況

稲の成育は、六月後半以降高温多照で経過したことから、生育の回復がみられましたが、七月の低温、特に七月二十一日から三十一日までは東寄りの風が吹き込み、早生種の「アキヒカリ」や「あきたこまち」の一部に、白稈や障害不稔の発生がみられました。また八月に入ってからには、連日の高温多照で降雨がなく、小河川やため池を水源とする地帯は水不足となり、開花受精や籾の肥大に影響がでていきますので、減収は避けられないと思いますが、障害不稔の多い「アキヒカリ」の作付面積が二四パーセントと少ないことや、平地部の一部に被害が限られており、今後さらに調査したいと思えます。

'88大館大文字まつり

八月十六日、快晴炎天のもとに火と音と光の競演をテーマに盛大に開催され、協賛イベントなどは例年になく多彩にとり行わ

れました。関係各界の皆様のご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

今後も市民総参加による企画また誘客に力を入れて、大文字まつりが一層充実するよう検討し、さらに成功させたいと思っておりますのでご協力をお願い申し上げます。

大町商店街

改造計画の経過

昭和六十一年三月に大町商店街振興組合が「大町商店街改造計画」を策定し、その具体化を図るため去る七月六日大町商店街再開発事業促進会議が発足しました。構成メンバーは振興組合役員を中心に商工会議所、県中小企業団体中央会、銀行及び市で、現在は同計画の実現化の方向を模索しているところですが、明年三月末までには何らかの結論を導き出したいと考えています。

市では七月一日付で都市開発課の再開発担当に職員を一人増員配置し、行政サイドでできる範囲の協力をしていきたいと考えています。

工業団地の整備状況

(1) 大館工業団地(二井田)

工業用水調査の状況

現在一日当たり一千五百トンの水量確保を目指して米代川J R花輪線鉄橋下流付近を第一候補地、犀川、米代川合流付近を第二候補地として水質検査、揚水試験を実施していますが、水質については両候補地とも厚生省の基準に適合する検査結果が得られ、揚水試験は八月十七日の着工以来鋭意進めています。揚水量を確認し、送水設備を付設して団地の水需要に応えたいと思えます。

なお、第二候補地も九月上旬には揚水量の把握ができる見通しです。

(2) 花岡工業団地

造成工事等の状況

造成工事は四月二十三日の着工以来順調に進み、八月十日予定どおり完工しています。また工業団地を貫通する県道の改良工事も十二月十五日完工に向けて進められ、現在進捗率六〇パーセントとなっています。

造成工事の二次発注分として八月十日に着工した防火貯水槽築造工事、団地南側の造成工事等については、九月二十五日の完工を目指して工事中であり、現在進捗率は四〇パーセントです。なお日本パルス大館株式会社の建築工事は十月三十日の完工を目指して工事中であり、現在進捗率は三五パーセントとなっています。

市長の対話ノート



忙中 忙の九月

九月も半ば、こんなにせわしい月とは思ったことがありません。「移動市役所」の開設二十五カ所、「地区敬老会」十八カ所、市議会九月定例会十七日間、主要な行事だけでこれですが、他に「市民運動会」「教育の日」「交通安全市民大会」「市民ふれあい広場」「老人大会、文化祭」と続きます。

真夏の暑さから解放され、とり入れの秋までの、このさわやかな時期に行事が集中するのは、当然の帰結かも知れません。それにつけても出来秋の作柄が心配のタネです。「垂れ穂に喜び」を感じておりましたが、障害不稔とあっては不安がつるばかりです。せっかく先行き経済に灯が見えて来た時だけに心配でなりません。悪循環にならないように、後世にまで尾を引かないように万全を期すには今が最も大切な時です。

「忙中、忙」タイミングを失せず、働き続けます。

留山健治郎